

令和2年4月11日に発生した新型コロナウイルス感染症患者（33例目）に係る
積極的疫学調査の状況について【第2報】

令和2年4月16日

本県において、4月11日に確認された、新型コロナウイルス感染症患者（33例目）の積極的疫学調査について、現在までに判明した結果を以下のとおりお知らせします。

※本日発表の情報部分は、下線のとおり

※ 31例目の感染判明を受けて、濃厚接触者として検査を実施したもの。

【患者の概要（33例目：県内31例目の夫）】

1 年代：70代

2 性別：男性

3 居住地：那須塩原市

4 症状、経過

4月8日 咳の症状あり。那須塩原市内の医療機関Aを受診。（マスク着用あり）

4月9日 咳の症状あり。

4月10日 検体回収。

4月11日 PCR検査の結果、陽性であることが判明。県内の医療機関に入院。

5 行動歴

- ・感染が疑われるような接触や目立った行動はなし。
- ・4月9日 妻（県内31例目）の陽性判明後、濃厚接触者として自宅待機。
- ・4月8日の医療機関受診以外は、自宅にて過ごす。

6 濃厚接触者等について

- ・濃厚接触者等については、家族2名、（娘（41例目）、娘の夫）。娘と娘の夫については4/11にPCR検査の結果、陰性を確認。その後、娘に症状（発熱、頭痛）が現れたため、4/16に2回目のPCR検査を実施し、娘（41例目）の陽性を確認、県内の医療機関に入院。
- ・受診した医療機関では、適切な感染防御対策を講じていたため、濃厚接触者にあたる者はいない。

7 公表の考え方について

- ・感染症患者の発表に当たっては、感染症のまん延防止に必要な情報と患者のプライバシーのバランスを図る必要があると考える。
- ・感染症患者が他者に当該感染症を感染させる可能性がある時期（4/8以降）の行動歴等については、感染症のまん延防止のために必要な範囲で公表することとした。
- ・一方、感染症患者が他者に当該感染症を感染させる可能性がない時期（4/7以前）の行動歴等については、感染症のまん延防止に資するものではないと考えるため、公表は差し控える。

◆県民の皆様へ

- ① 県民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の手洗いや咳エチケットなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- ② 次の症状がある方は、県広域健康福祉センター又は宇都宮市保健所の相談窓口（帰国者・接触者相談センター）に御相談ください。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。

（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

御相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を御紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では、新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

- ③ 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集まることを避けてください。
- ④ 発熱等の症状がみられるときは、会社等を休み、外出は控えてください。
- ⑤ 感染症情報の詳しい内容は、栃木県庁ホームページに情報を掲載していますので、御確認ください。

◆報道関係の皆様へ

本情報提供は、感染症予防啓発のために行っているものです。

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に格段の御配慮をお願いします。